

令和6年度 学校評価シート（定時制まとめ）

		自己評価				学校関係者評価		次年度への改善策		
※評価基準(4:良い、3:やや良い、2:やや悪い、1:悪い / A:4.0~, B:3.0~, C:2.0~) ⇒		R6末	R6中	R5末	評価	意見・要望・改善案	評価		コメント	
【1】 学校運営	1	重点目標に基づいた教育活動ができるよう分掌への働きかけは適切であったか	3.5	3.2	3.3	A	・校内組織の編成については1人に過重な負担がかからない編成を望むとの意見があった。バランス良く偏りが出ない業務負担となるように、組織改善に努めたい。	A	・中間評価より年度末評価が高くなっている。先生方の努力の結果だと思う。学校運営の評価が高く、意見を踏まえての対応ができています。	・業務分担については年度末に投げかけ、改善を試みる。
	2	教職員の教育活動に対する取り組みへの協力は適切であったか	3.6	3.4	3.5	A				
	3	運営委員会・職員会議・課程会議の運営は適切であったか	3.6	3.5	3.4	A				
	4	校内組織の編成は適切であったか	3.3	3.1	3.1	A				
【2】 総務	5	年間行事を、全日制・通信制・各分掌と調整し、適切に計画したか	3.3	3.3	3.5	A	各分掌との連絡調整に努め、相互理解による学校行事の円滑な運営 今年度は、振り返りのアンケートを初めて実施した行事もあり、検証を進めた。今年度の記録、検証にしたい。早め早めの準備を行いたい。 危機管理意識の高揚 防災訓練は、消防署と調整してなんとか耐震車での体験を実施しようと計画している。 防犯訓練は、今年も振り返りの研修を含めて実施できた。防災訓練は、消防署と連携をして実施する。防犯訓練は、警察に依頼し充実したものにする。 円滑な情報処理と適正な情報管理及び発信 各行事(企画)が終了するごとに先生方に協力いただき、ホームページによる情報発信は充実できている。 配信アプリも有効に活用できている。必要な情報発信は、常に早めに提供できるように工夫する。	A	・防災、防犯の取組は教職員と生徒と一緒に学べる機会を設けてほしい。(防災・・・南海トラフ地震等、防犯・・・間バイト、SNS詐欺等)	・防災、防犯については外部機関を活用し更なる充実を図る。 ・配信アプリ、ホームページによる情報発信の充実を継続する。
	6	儀式的行事の運営は適切だったか	3.5	3.3	3.6	A				
	7	奨学金制度についての広報及び手続は適切だったか	3.6	3.2	3.4	A				
	8	教員及び生徒の危機管理意識を向上させることができたか	3.4	3.1	3.3	A				
	9	HPへの記事掲載が頻繁に行われるよう、行事等担当者への働きかけは適切であったか	3.2	3.1	3.1	A				
【3】 教務	10	出席率を向上させるための働きかけは適切であったか	3.3	3.0	3.2	A	「主体的で対話的で深い学び」を通して、確かな学力(ダヴィンチ・ゴールズ)を育成する 生徒からの授業アンケートをもとに、各教科で具体的に授業改善に取り組んだ。多くの授業でICT機器の活用を図ることができた。全日制司書によるオリエンテーション、蔵書検索システムの導入など、図書館の利用促進に努めた。 通信制、全日制との連携 連絡、確認不足で使用教室の重なりがあったが、生徒の不利益にならないよう対処できた。中学校へ出向いての学校説明会や、来校による学校見学に細かく対応できた。次年度は担当者だけでなく、関わる部署等で二重のチェックを行う。学校見学についてはできるだけ多くの中学生に定時制を理解してもらえようきめ細かく対応していく。 教務規程および教務内規の実施と検証 観点別評価も3年目になり、各教科とも評価規準が定まってきた。次年度は新課程の完成年度となるので、教育課程の検証を行う。	A	・生徒に合わせた教育ができていと思う。 ・ICTの活用で成果が上がったことは喜ばしい。 ・図書館に関する数値が上がっている。蔵書リスト等生徒が利用しやすくなる取組は評価できる。 ・多様な生徒の求めに応じた個別最適な学びが、カリキュラム等も含めて実践できている。 ・市立図書館とのコラボをしてはどうか？(読み聞かせ等)	・新課程の評価を検証し、次年度へ向けて改善点等を洗い出す。 ・学校見学等は個別対応も含めて、丁寧に ・行い次年度の生徒確保へ繋げる。
	11	生徒の出欠・成績に関する共通理解を図るための情報提供は適切であったか	3.4	3.2	3.5	A				
	12	年間曜日設定及び曜変により、バランスのとれた授業時数の確保につなげたか	3.6	3.4	3.6	A				
	13	授業実施において、通信制・全日制との調整を適切に行ったか	3.4	3.4	3.5	A				
	14	図書館及び蔵書の管理は適切であったか	3.6	3.5	3.4	A				
	15	生徒が積極的に読書するよう、適切な働きかけを行ったか	3.3	3.0	3.1	A				
【4】 生徒	16	生徒にTPOに応じた身だしなみやふるまい・マナーを意識させることができたか	3.1	3.1	3.2	A	基本的な生活習慣の確立 「規範意識」の項目について、教職員、生徒、保護者とも3ポイント台であった。各クラス担任と協力しながら開校礼、HR活動、各種行事等を通じ粘り強く指導していききたい。毎日の教員終礼や毎週行う課程会議、生徒理解研修やケース会議等、生徒一人一人について細やかに情報共有を行い、全教職員で共通理解を図り生徒の指導・支援に当たりたい。 生徒理解と指導・支援の充実 「支援」の項目について、生徒・保護者とも3ポイント台であった。毎日の教員終礼や毎週行う課程会議、生徒理解研修やケース会議等、生徒一人一人について細やかに情報共有を行い、全教職員で共通理解を図り生徒の指導・支援に当たりたい。校内では特別支援教育コーディネーターや保健部(養護教諭)と連携を図りながら、外部機関も活用することで、保護者と生徒の思いや願いに丁寧に寄り添い支援を行っていききたい。 生徒会活動や各種行事の充実 教職員評価は3ポイント台であった。「協働(集団活動)」の項目について、生徒・保護者とも3ポイント台であった。生徒会執行部の生徒を中心に各種行事の企画・運営を行い、学校全体の連帯感の醸成を図るとともに、生徒個々の充実感や意欲向上、生徒同士の人間関係構築につなげていききたい。生徒部以外の教員にも委員会担当に就いてもらい、教職員・生徒が一体となって各種委員会活動に取り組むことで、学校全体の活力にするとともに、生徒の自己有用感も高めていききたい。	A	・活動を通じて経験をさせていただいていると感じます。	・日々の情報共有を密にし、全教職員の共通理解のもとで生徒の指導に当たれるように努力する。
	17	生徒会執行部の活動をはじめ、各種委員会活動を活性化させることができたか	3.4	3.2	3.5	A				
	18	生徒会行事がスムーズに運営できたか(総会、交流会、スポーツ大会、送る会)	3.4	3.3	3.5	A				
	19	安全・安心な学校づくりのために、いじめ防止に努めたか(アンケート、生徒理解)	3.4	3.2	3.3	A				
	20	人権・同和教育は計画的に推進されたか(推進委、HR活動、たより、教職員研修等)	3.5	3.3	3.3	A				
	21	道徳教育は計画的に推進されたか(ふるまい推進、コミトレ、教職員研修等)	3.3	3.1	3.3	A				
【5】 進路	22	定時制通信制の連携のとれた進路指導体制を構築できたか	3.5	3.2	3.2	A	他者と協働し地域社会に貢献できる人材の育成 連絡会議・支援対策会議や企業・学校見学やインターンシップなど連携の機会を利用して情報交換をすることができた。ハローワークとの連携で個別就職対応ができた。 生徒一人一人が志を立て志を遂げるために努力する主体的な進路実現の支援 インターンシップをはじめとする様々な進路行事が予定通り実施できた。事後アンケートや振り返りシートを見ても進路について考える上で役立ったという回答が多い。参加者の増加を促す。 生徒一人一人を大切にしたい多様な進路希望に対応する進路指導 進路適性検査等は、予定通り実施し、共有することができた。	A	・引き続き活動をお願いいたします。多くの生徒さんが進路が決まってよかったです。 ・地元就職者の確保に努力していただき、感謝します。 ・なだらかに社会とつながるために日常的な地域活動との接点もあるといいですね。そのために先生方の背中押しも大切で ・進路の数値が高くなっている。計画が綿密に立てられ、福祉就労に向けての計画等も進めていることが評価につながっている。 ・福祉系への就労もぜひ勧めてほしい。 ・企業見学に商工会にも協力をさせてほしい。地元の人材確保	・生徒の進路実現のために、外部とも連携し、更なる充実を図る。
	23	4年間を見通した進路計画が作成できたか	3.4	3.1	3.1	A				
	24	インターンシップは適切に行われたか	3.6	3.5	3.4	A				
	25	担任が進路指導ができるよう、適切な情報を提供したか	3.4	3.3	3.0	A				
	26	進路行事(進学・就職説明会、企業・学校見学、進路ガイダンス)の内容は適当なものであったか	3.5	3.5	3.2	A				
【6】 保健	27	心と体の健康講座のテーマと時期の設定は適切であったか	3.5	3.2	3.5	A	生徒の興味関心を引き出し、生徒が自ら学ぼうとする意欲を高める指導 心と体の健康講座の企画事後のアンケート結果から、心と体の健康への興味関心が高まり効果的な指導につながった外部講師、学校薬剤師を招き計画的に実施した。 生徒が自分の健康状態を把握するための支援 保健調査実施により生徒の健康状態を把握できた。健康観察については担任に働きかけ、昼間部夜間部とも実施することができた。次年度も引き続き、保健調査・健康観察を行い、生徒の健康状態の把握に努め、受診することの大切さを伝えたい。 相談支援を通して、将来の目標が具体的に持てるようなかかわり 相談支援スタッフ(SC・SSW・KS)による1年生全員面談は年度当初に実施した。2年生と3年生については1月～年度末にかけて実施予定である。個別に働きかけながら計画的な活用となるよう努めた。コンサルテーションや終礼等で情報共有を心がけ、事例は限られているがケース会を開催した。	A	・学級閉鎖など無く、衛生管理ができていと思います。 ・特別支援学校籍の教員がいなくなったそうだが、インクルーシブとの連携もできているとのこと安心した。	・相談体制を継続し、引き続きの支援体制の充実と情報共有に努める。
	28	健康観察、健康診断による健康状態を把握し、生徒が自己管理できるように働きかけたか	3.5	3.4	3.4	A				
	29	SC、教育相談員など人的援助の活用と関連機関との連携を図り、相談・支援事業の充実につなげたか	3.6	3.5	3.4	A				
	30	(特支)関係者・外部団体と連携し、情報交換会を開催したか	3.5	3.6	3.7	A				
	31	(特支)研修は適切だったか	3.3	3.2	3.6	A				
【7】 ルーム	32	日々の学習に真面目に取り組んだか	3.3	3.0	3.0	A	日々の学習に真面目に取り組んだかの項目が昨年度よりアップしている。基本的な生活習慣については、生徒・保護者アンケートでも数値が低く、まだまだ様々な面で成長が必要であると、お互いを感じているのが伺える。日々のきめ細かな指導の中で引き続き生徒の成長を促したい。 ・本校へ入学しての満足度は、生徒・保護者アンケートでも高い数値が出ており、また保護者の意見も担任への感謝の言葉が多く見られ、学校への信頼度は高いと感じるので、自信を持って今ある教育活動を継続していききたい。	A	・保護者アンケートの結果から、担任への感謝の表明が多数寄せられたことは、とても喜ばしいこと。教員間で共有し、励みにしてほしい。 ・Bがついている項目については評価が上がるように引き続き取り組んでほしい。 ・授業を参観させていただきましたが、すごく真剣に学習されていてすばらしいと思います。	・少人数ならではのきめ細かな指導を継続し、生徒の更なる成長を促すように努める。
	33	時間を守ることができたか	3.1	2.9	3.0	A				
	34	挨拶ができるようになったか	3.1	3.0	3.0	A				
	35	TPOに応じた言葉遣いができるようになったか【2、3年次のみ】	3.2	3.0	2.7	A				
	36	下級生の模範となる行動ができるようになったか【3、4年次のみ】	2.6	2.7	2.7	B				
37	「自律」できるようになったか【4年次のみ】	2.6	2.9	3.0	B					
【15】 事務	38	効率的・効果的な予算執行	3.5	3.2	3.5	A	A	特になし	今年度同様、迅速かつ丁寧な文書処理、会計処理に努める。	
	39	迅速・的確な施設設備の補修・保全と教育環境の整備	3.6	3.3	3.5	A				
	40	事務部と教員の円滑な連絡・調整	3.6	3.3	3.5	A				